



記号	講座日	開催時間	大学名	講演テーマ	講師
A	第1日目 2/4(火)	14:00~14:20	(株)東大阪スタジアム	お家でも簡単に出来る 機能改善エクササイズ	HOS花園スタジアム にきみ ゆめ子 様
	お家で簡単にできるエクササイズを行ってまいります。普段から身体を動かす習慣がないと、身体はだんだんと固まってきてしまいます。少しずつでも身体を動かすことで、肩こりや腰痛等の予防や改善にも繋がります。頭の体操等も取り入れたエクササイズ方法をお家でも1人でできるように紹介いたします。				
	第1日目 2/4(火)	14:20~15:50	大阪経済法科大学	数千年に1秒の誤差の 時計の時代に生きる	教養部 客員教授 村田 恵三 先生
正確な時刻が必要になったのは産業革命からである。その後、時計は進化を続け、原理的には宇宙の年齢規模（138億年）で1秒以下の誤差を実現できそうだ。現在は数千年に1秒の精度に到達している。何をそこまで、とおっしゃる貴方に。貴方もすでにそれを使いこなしていますよ。それなしでは暮らせないほどに。 時計は環境によって進み方が違うなんて、主張したアインシュタインも驚くだろう生活が今繰り広げられている。					
B	第2日目 2/5(水)	14:00~14:30	大興産業(株)	認知症予防と日々の健康管理	代表取締役 まつもら こうじ 松茂良 興治 様
	現在、わが国では、その予備軍も合わせると認知症の方は850万人にもものぼり、今後高齢化が進んでいくにつれ、認知症の患者数がさらに膨らんでいくことは確実です。早期発見・治療が重要となりますが、いかにして日頃から認知症についての意識を持ち、予防のために健康管理を行うことが必要であるか、お話をさせていただきます。				
	第2日目 2/5(水)	14:30~16:00	近畿大学	未来の世代のために —持続可能な社会を取り戻すためにシニア世代ができることを考えてみませんか?—	社会連携推進センター やすだ ただし 教授 安田 直史 先生
今我々が面している最大の課題は地球の（環境の、生物の、人類の）未来が持続可能でないのではないかという危機です。世界中の国々がこの問題に対して共通の目標として「持続可能な開発目標（SDGs）」を掲げて取り組みを強化しようとしています。これからの「新しい時代」がどのようなものになるのかはこの取り組みの成否にかかっていると言っても過言ではないでしょう。 今のシニア世代が「持続可能な社会・時代」を作るのに貢献できるのではないかと考えています。講義をするというよりも、みなさんと一緒にこの点を考えてみる機会にしたいと思います。					
C	第3日目 2/6(木)	14:00~15:30	大阪商業大学	経済学の視点からみた 社会保障のしくみ	経済学部 経済学科 やまうち やすひろ 教授 山内 康弘 先生
	医療、介護、年金、子育て支援といった社会保障のしくみの意義を、経済学の視点から捉え、学術的に解説します。長寿化、少子化、技術の高度化が進むなかで、今後の社会保障はどのようなかたちになるのか。自ら考えていただく際の参考になれば幸いです。				
D	第4日目 2/7(金)	14:00~15:30	大阪産業大学	姿勢と動作の力学	工学部 機械工学科 くりた けんか 教授 栗田 裕 先生
	新しい時代を生き抜き、日常生活を健康かつ快適に過ごすために、よい「姿勢」や、よい「動作」を心掛ける必要があります。本講座では、力学の視点から人間の姿勢や動作の良し悪しを考察します。まず、姿勢の安定性について、重心と支持基底面を用いて説明します。次に、腰関節の負担について、上半身に加わる重力に着目して考えます。				
E	第5日目 2/8(土)	14:00~15:30	大阪樟蔭女子大学	映画『ショーシャンクの空に』の 主人公が実現したものとは何か —フランクが唱えた3つの価値の視点から—	学芸学部 国際英語学科 たかはし さとる 教授 高橋 悟 先生
	公開後四半世紀を経てもなお国内外で圧倒的人気を誇る上記映画を取り上げ、1946年に出版された世界的ロングセラー『夜と霧』の著者ヴィクトール・E・フランクが唱えた3つの価値（創造価値、体験価値、態度価値）の視点から、その主人公が逆境の中でどのような価値を実現していったかについて考えます。				
F	最終日 2/9(日)	14:00~15:30	東大阪大学 短期大学部	再生医療とモノづくり技術	実践食物学科 教授 地域連携推進センター産官学 みなもと しんすけ 地域連携室長 源 伸介 先生
	iPS細胞をはじめとする再生医療の進歩は私たちの生活にどのような変化をもたらすのでしょうか？再生医療の現場ではどのような技術が求められているのでしょうか？そこには、モノづくり企業が果たすべき役割があるのでしょうか？ 基本的な概要を交えながら、考えてみたいと思います。				